

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。

当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

この臨床研究のデータを別の目的の研究に二次的に利用する場合があります。その際は新たに研究計画書を作成し、別途臨床研究審査委員会の承認を受けて実施します。その場合もあなた個人を識別できるような情報が漏れることはありません。

【研究課題名】

側方侵入腰椎椎体間固定術における術前アライメントの影響

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、側方進入腰椎椎体間固定術の術後成績について解析することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2018年4月1日から2021年5月30日までの間に、
当院の整形外科で腰椎変性疾患における側方進入椎体間固定術による間接除圧を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

実施許可日から 2023年3月31日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像）、手術記録、
痛みのアンケートなど

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2320）

研究責任者 整形外科 檜山 明彦